

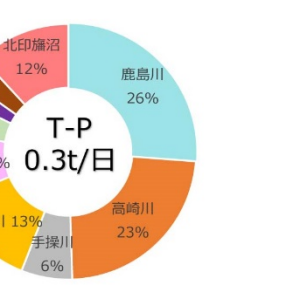
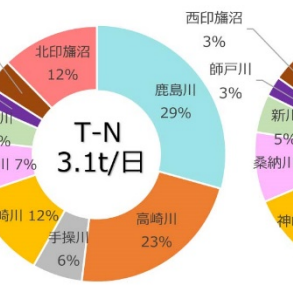
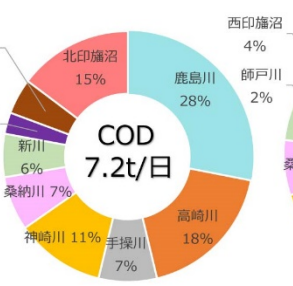
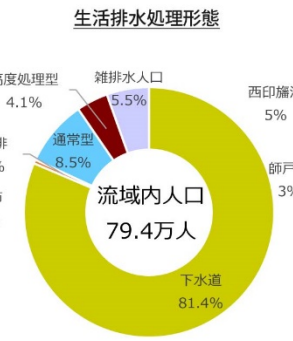
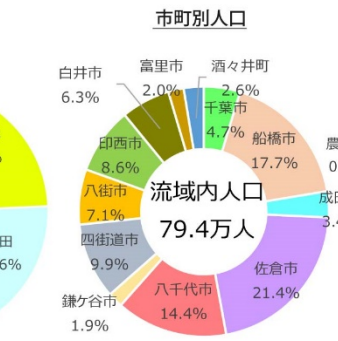
6 参考資料

6.1 各河川流域の現状

印旛沼流域の各河川流域の現状について、次ページ以降に示します。

印旛沼流域

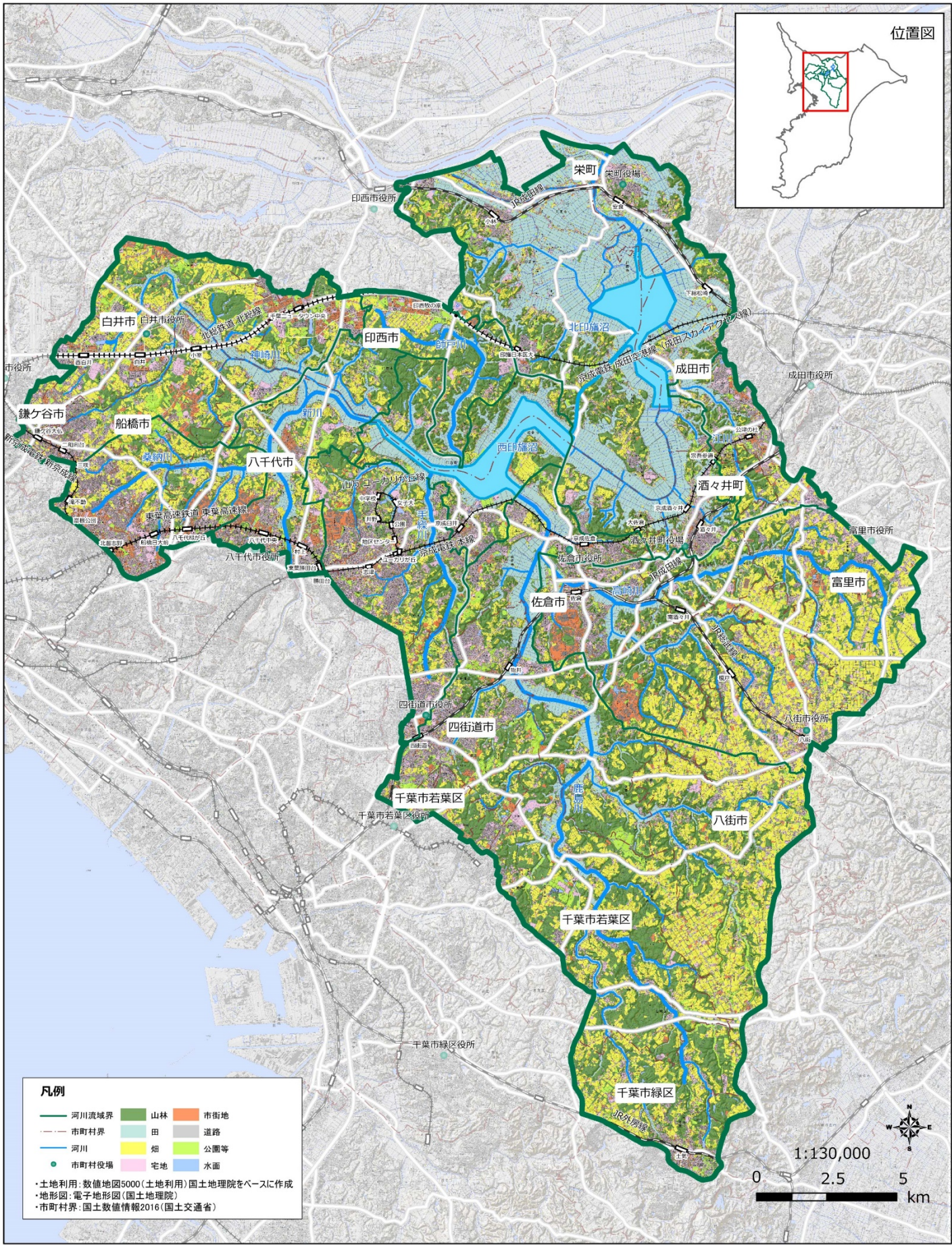
流域別排出汚濁負荷量



※「市街地」とは商業・工業地域や、高層住宅やビル等の建物が密集した地域、「宅地」とは一軒家や低層住宅の地域を指しています。

出典：千葉県水質保全課（令和2年度）
 （流域人口、汚濁負荷量には、湖沼水質保全特別措置法で定められた指定湖沼地域内での統計値であるため、柴町は含まれていません。）

出典：千葉県水質保全課（令和2年度）



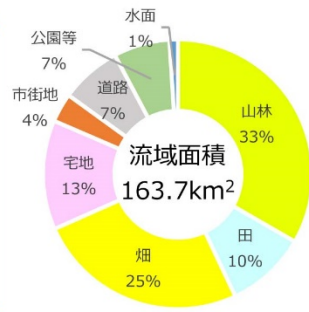
鹿島川流域

河川流域の特徴

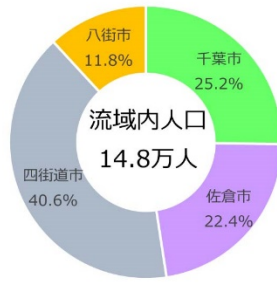
印旛沼の流入河川で最大の流域面積を持ち、全体の約3割を占めています。下流に佐倉市街地、支川の小名木川上流に四街道市街地がありますが、中流から上流にかけて台地上に広がる畑、山林は鹿島川流域の約6割を占めています。また、谷津や森林など比較的自然環境が多く残る流域です。

河川水質は、CODは比較的清いですが、窒素（T-N）は濃度が高くなっています。また、下流の佐倉市街地では大雨時には浸水被害が生じることもあります。

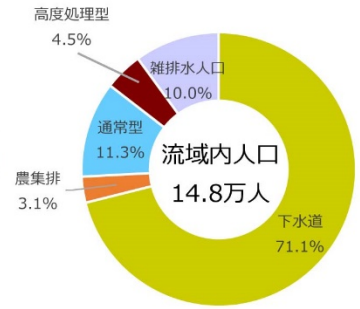
土地利用



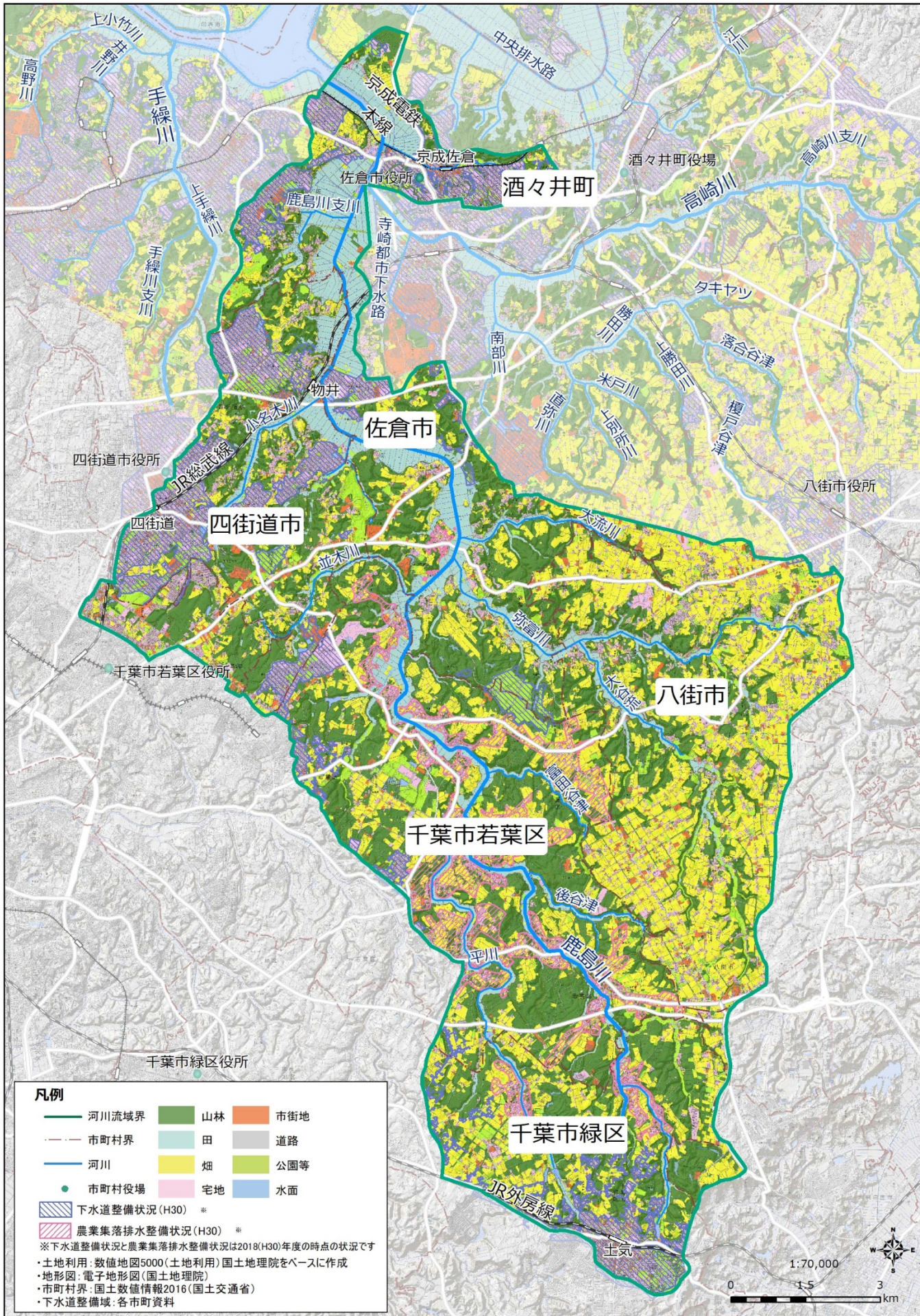
市町別人口



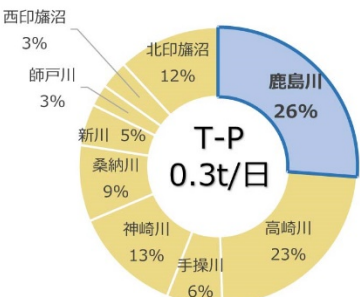
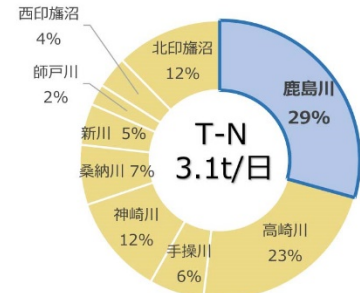
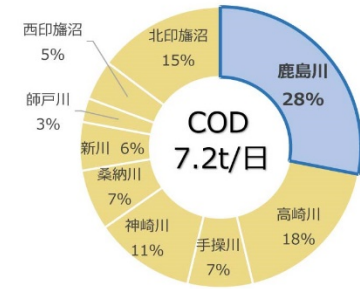
生活排水処理形態



出典：千葉県水質保全課（令和2年度）



流域別排出汚濁負荷量



出典：千葉県水質保全課（令和2年度）

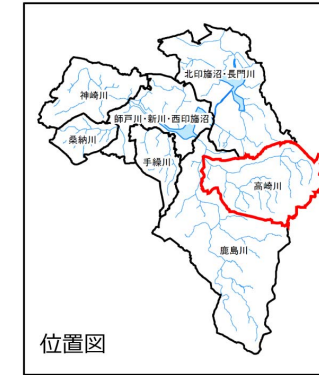
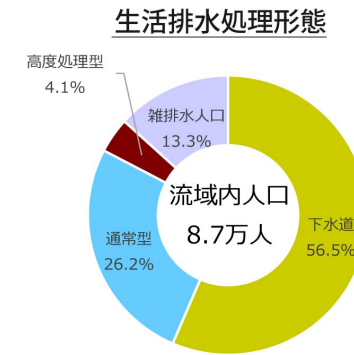
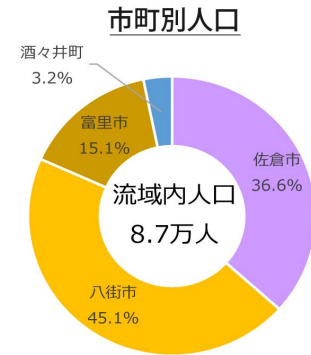
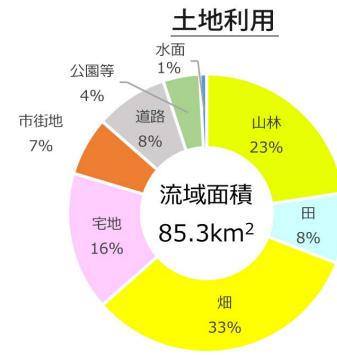


高崎川流域

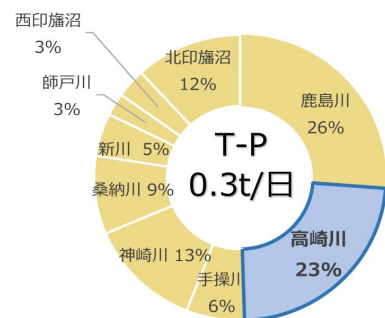
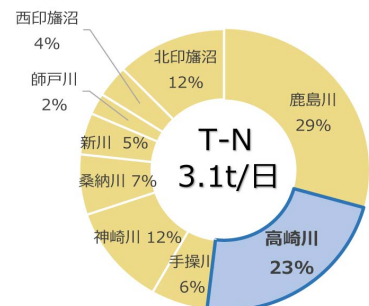
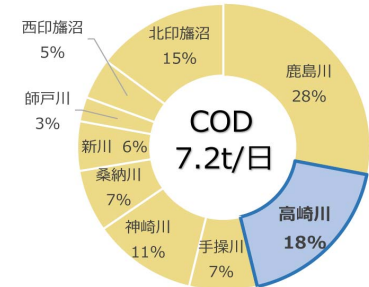
河川流域の特徴

下流に佐倉市、上流に八街市や富里市の市街地・住宅地が広がりますが、谷津や森林、斜面林等の自然も比較的多く残る流域です。中流～上流の台地上には畑が広がり、特産の落花生やスイカ等の畑作が行われています。

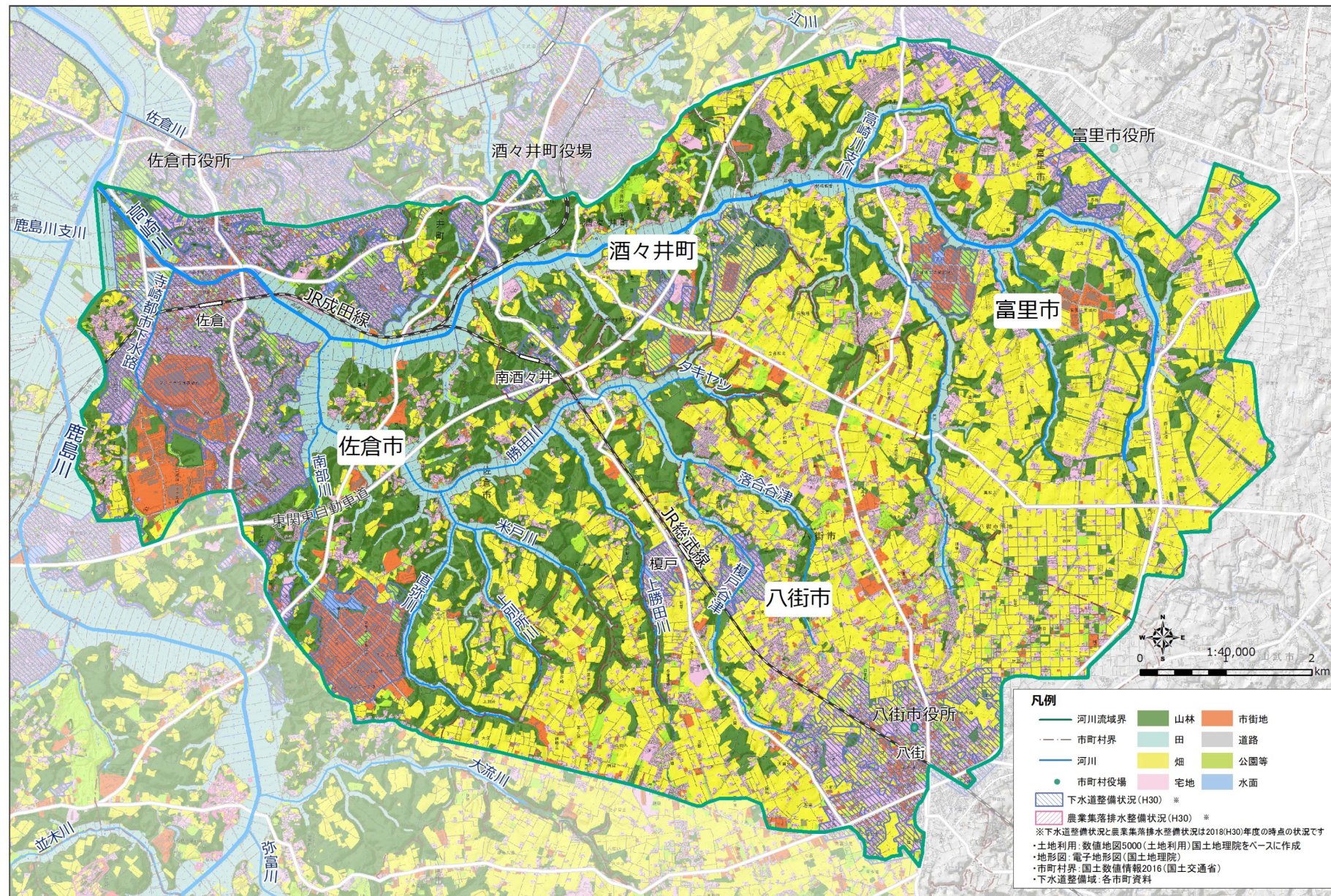
谷津等での湧水が多く、河川流量は比較的豊富で、河川水質はCODでは比較的きれいです。しかし、全体的に窒素(T-N)の濃度は高く、さらに市街地・住宅地に近い上流域では水質汚濁している水路も見られます。また、下流の市街地では大雨時には浸水被害が生じることもあります。



流域別排出汚濁負荷量



出典：千葉県水質保全課（令和2年度）

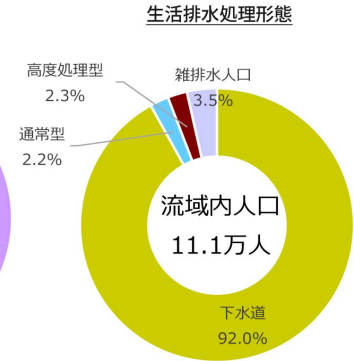
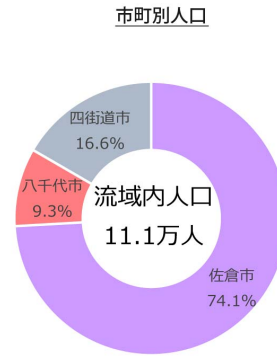
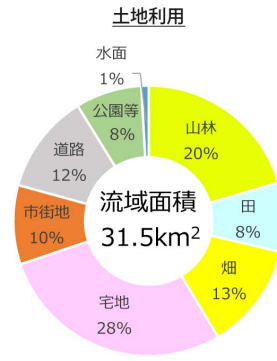


手繰川流域

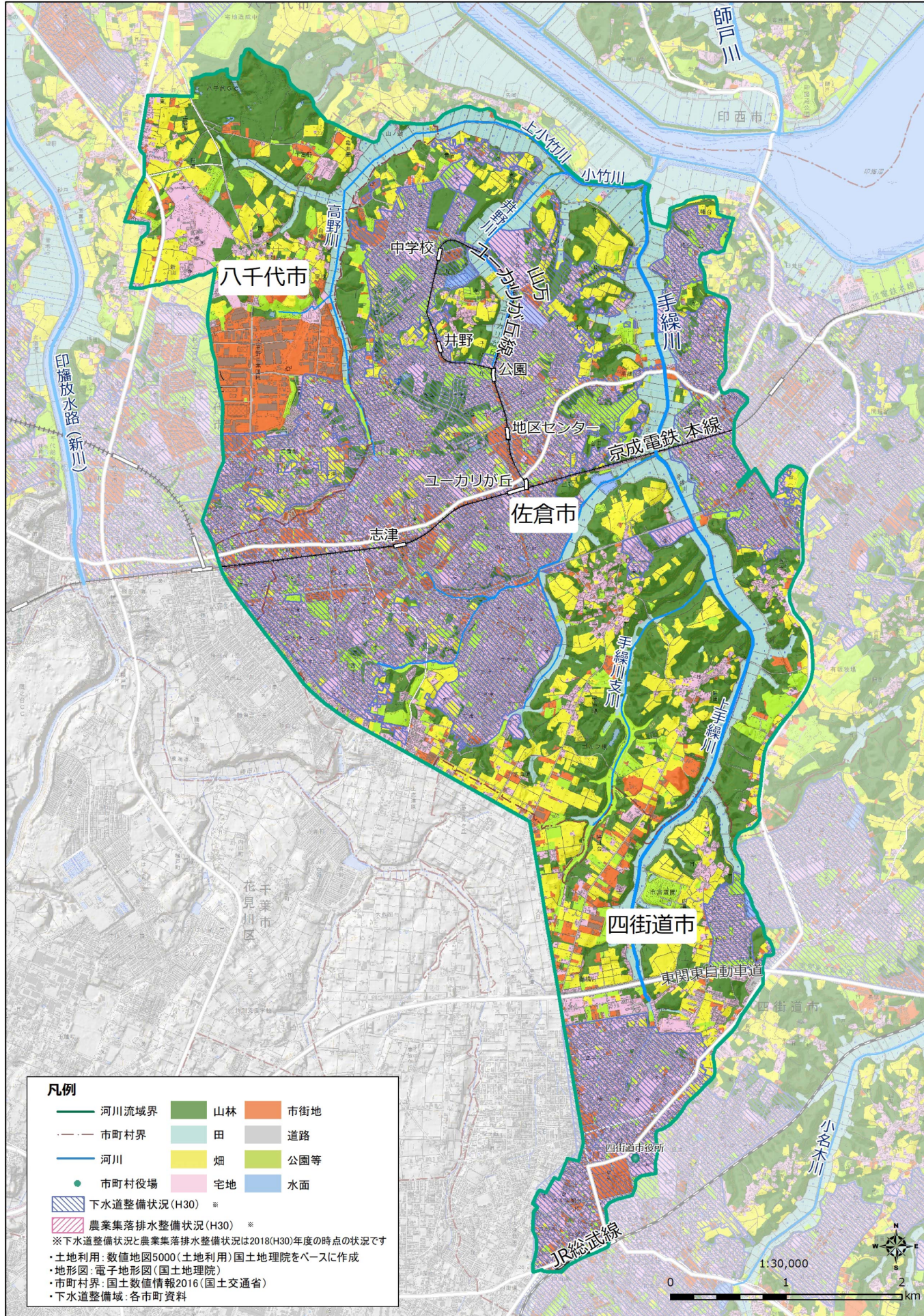
河川流域の特徴

市街地・住宅地が流域の約半分を占め、印旛沼流域の中で市街化が最も進んだ河川です。上流に佐倉市の臼井・志津等の市街地や、四街道の市街地が広がります。一方で、支川の上流域には自然豊かな谷津や、著名な湧水が残っています。

市街地や住宅地が多いものの、河川水質は比較的美観であり、印旛沼の流入河川の中でもきれいな河川です。



出典：千葉県水質保全課（令和2年度）



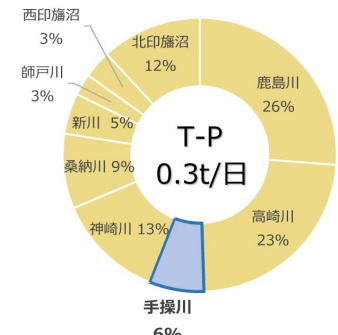
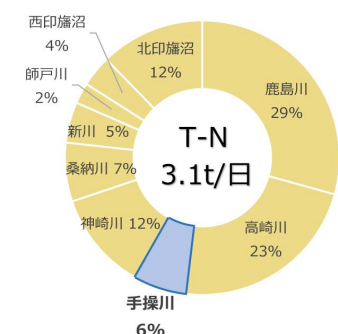
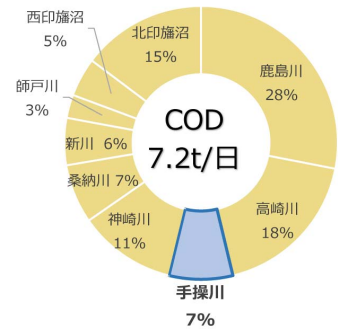
凡例

- 河川流域界
- 市町村界
- 河川
- 市町村役場
- 下水道整備状況(H30)
- 農業集落排水整備状況(H30)
- 山林
- 田
- 畑
- 宅地
- 市街地
- 道路
- 公園等
- 水面

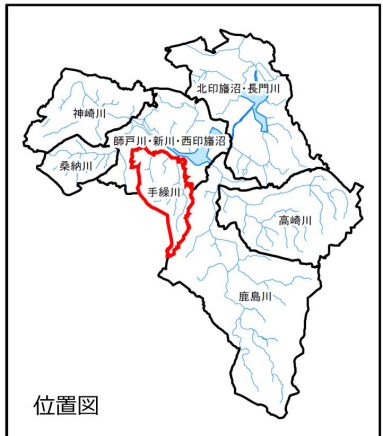
※下水道整備状況と農業集落排水整備状況は2018(H30)年度の時点の状況です

- 土地利用: 数値地図5000(土地利用)国土地理院をベースに作成
- 地形図: 電子地形図(国土地理院)
- 市町村界: 国土数値情報2016(国土交通省)
- 下水道整備域: 各市町資料

流域別排出汚濁負荷量



出典：千葉県水質保全課（令和2年度）



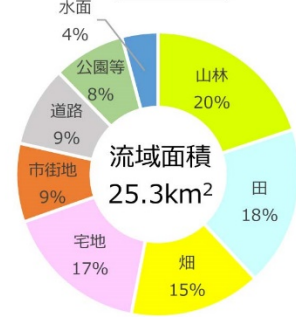
桑納川流域

河川流域の特徴

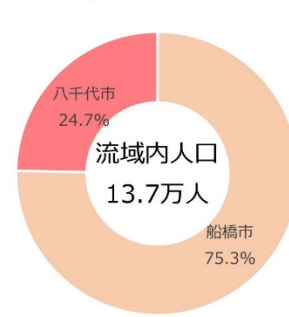
市街地・住宅地が流域の約半分を占め、そのほとんどは上流の台地上に広がっています。このため、雨水が地下にしみ込みにくくなって、台地下の湧水が減少しています。一方で、流域面積の約1/4は畑であり、斜面林などの山林も多く残っています。

上流域の市街地・住宅地の中を流れる水路は三面張り、二面張りの水路が多く、水生植物等の生物は少ない状況です。下水道整備が進んでいますが、印旛沼の主な流入河川の中でも比較的河川水質が悪化しています。

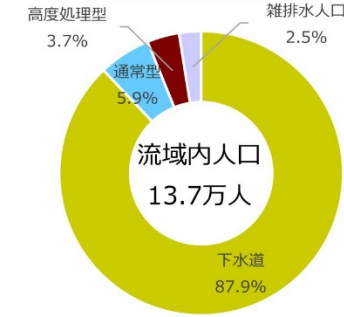
土地利用



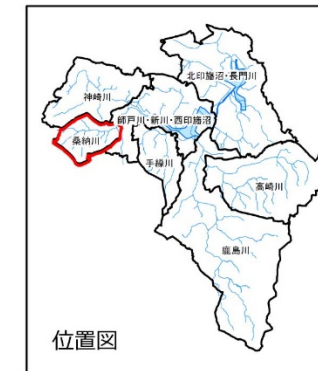
市町別人口



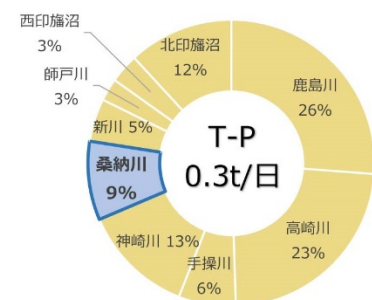
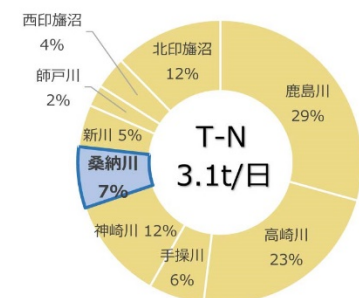
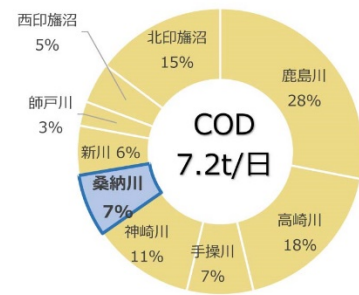
生活排水処理形態



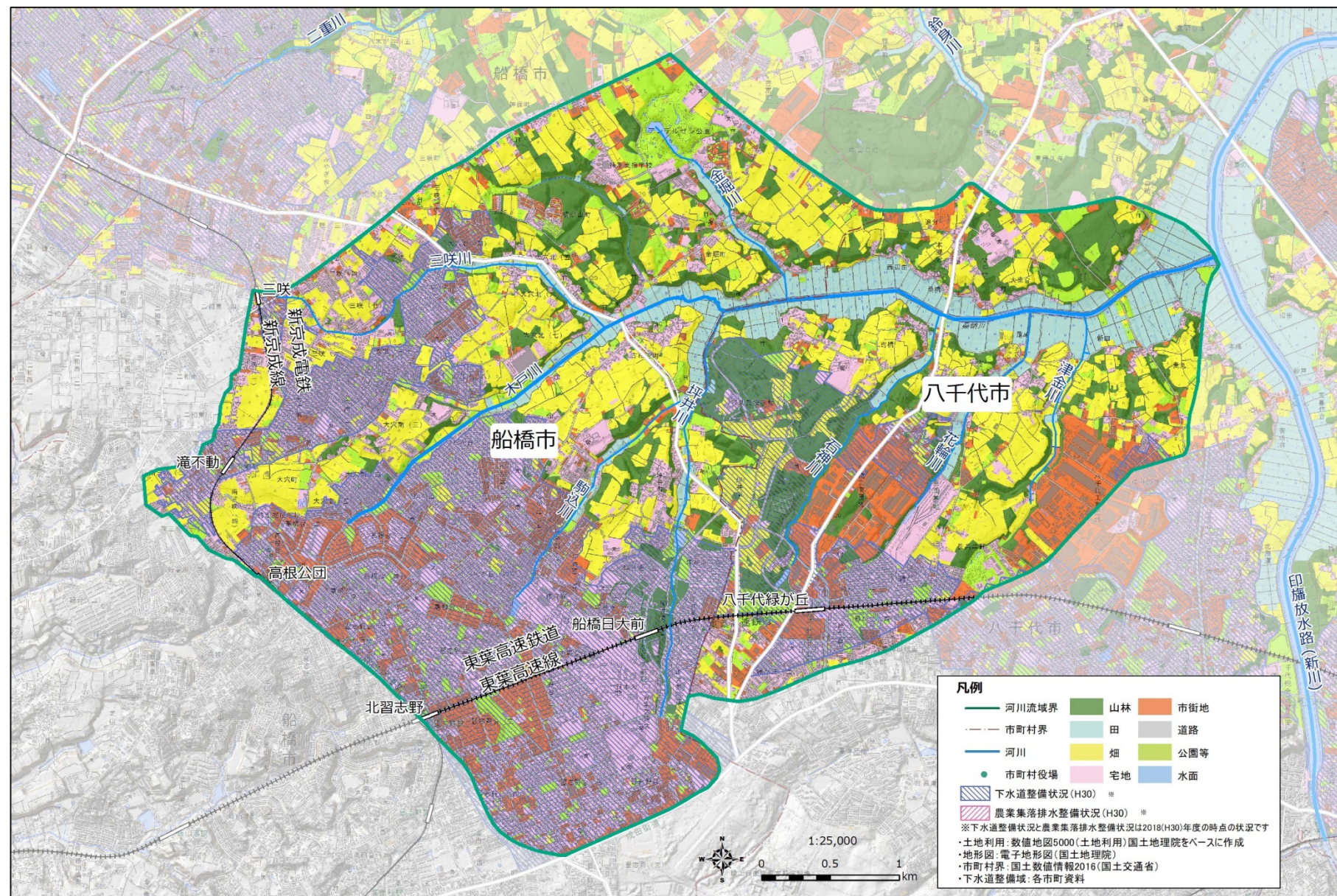
出典：千葉県水質保全課（令和2年度）



流域別排出汚濁負荷量



出典：千葉県水質保全課（令和2年度）



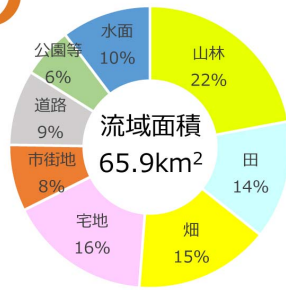
師戸川・新川・西印旛沼流域

河川流域の特徴

師戸川は上流に印西市の千葉ニュータウンの開発が進んでいますが、中流から下流にかけては水田や斜面林が広がり、自然環境が多く残りますが、市街地・住宅地のある上流では水量が少なく、河川水質が悪化しています。

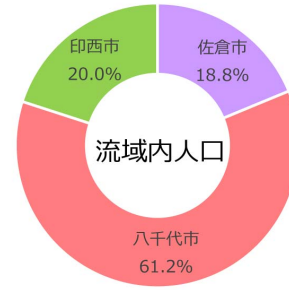
新川は大和田排水機場を最上流とし、印旛沼の西端の阿宗橋で印旛沼に接続しますが、平坦であり流れはほとんどありません。河川周辺には水田が広がり斜面林も残る一方で、台地上では市街地化が進んでいます。また、桑納川など流入支川の影響により水質は悪化しており、CODでは印旛沼と同程度の水質となっています。西印旛沼直接流域はほとんどが沼周辺の水田ですが、台地上には佐倉市臼井など市街地も広がります。

土地利用



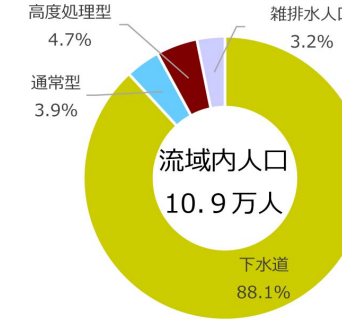
流域面積 65.9km²

市町別人口



流域内人口 10.9万人

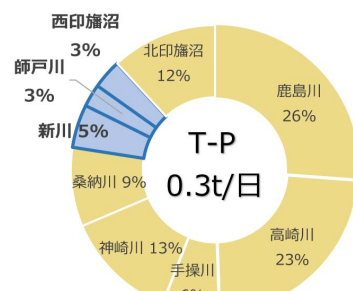
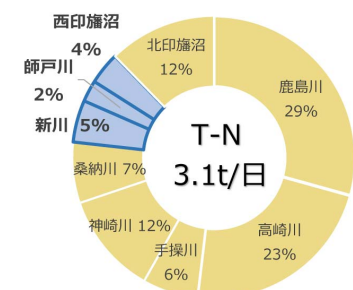
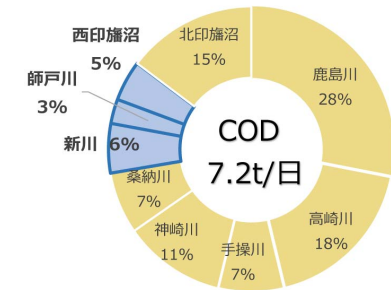
生活排水処理形態



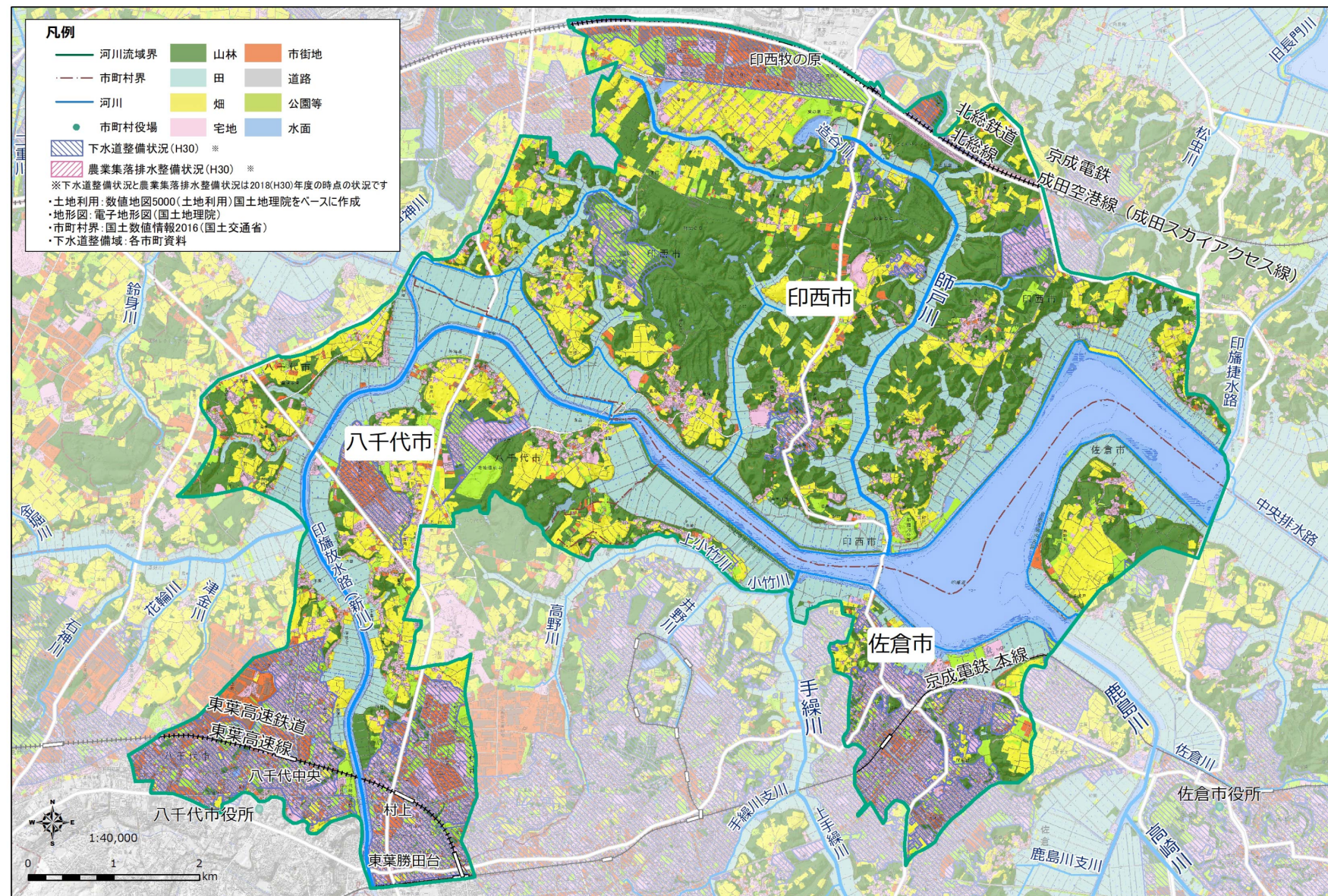
出典：千葉県水質保全課令和2年度



流域別排出汚濁負荷量



出典：千葉県水質保全課（令和2年度）

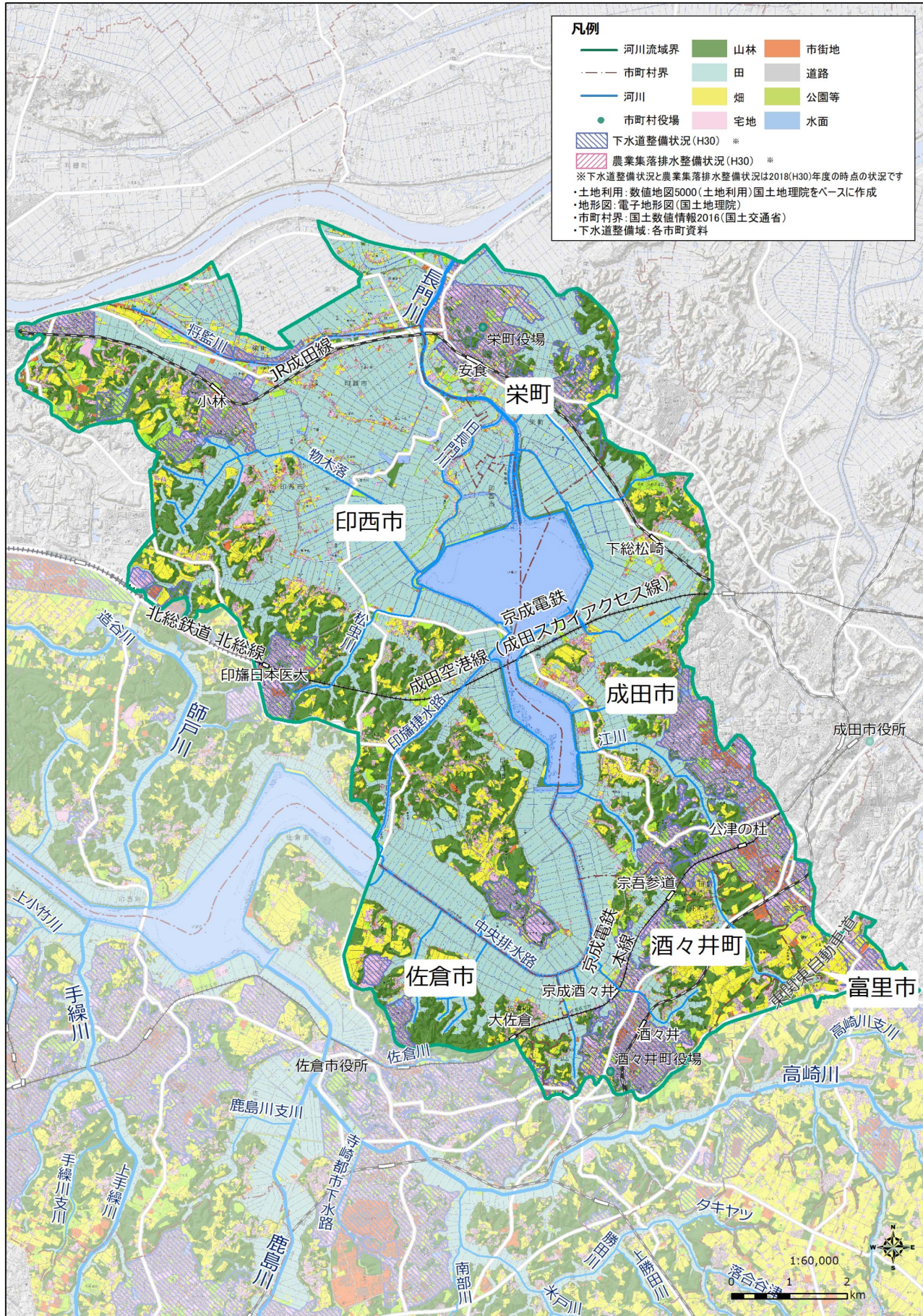
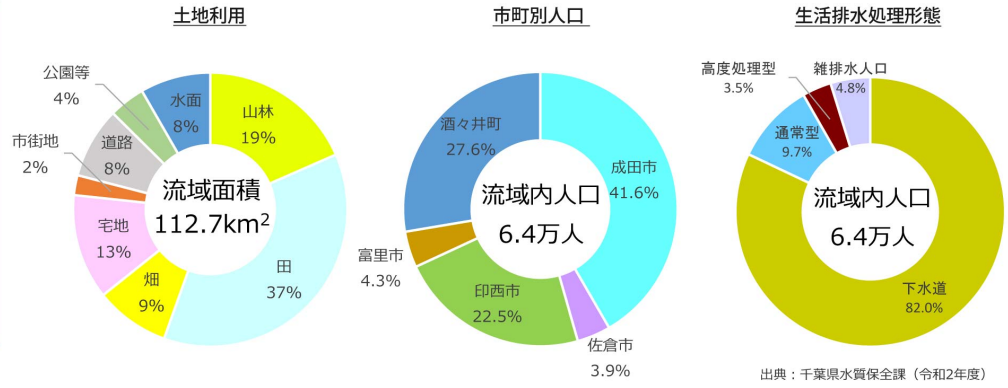


北印旛沼・長門川流域

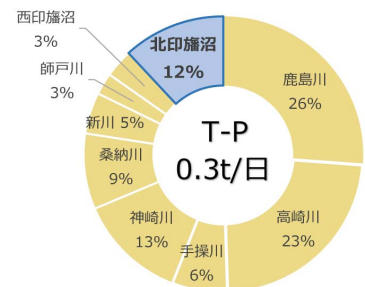
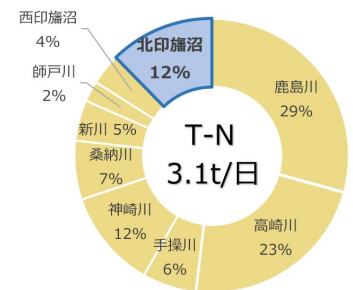
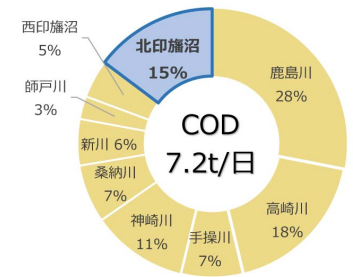
河川流域の特徴

北印旛沼の流入河川として江川や松虫川、物木落等があり、また沼の干拓によって出来た中央排水路があります。流域は沼周辺に広がる水田が約4割を占めており、市街地や住宅地は主に江川の上流(成田市)、中川の上流(酒々井町)に広がります。また、北印旛沼・流域を横切るように成田新高速鉄道、北千葉道路が通っています。

斜面林や谷津などの自然環境が多く残りますが、流域の多くは水田となっており、長門川では台地上に栄町、印西市の市街地が広がります。また、長門川の水質は印旛沼の放流を受け汚濁した状況になっています。



流域別排出汚濁負荷量



出典：千葉県水質保全課（令和2年度）

